

ひとつの花だより

2021年
秋冬号

令和3年も新型コロナウイルスに翻弄された年でしたが、そのような中でも、「おはようございます」の元気な挨拶で一日が始まっています。そして、私達の気持ちを清々しくさせてくれるかのように、雲一つない秋空が一面に広がっています。

現在の利用者の作業は農業関係が主で、農作物の出荷作業をしたり、計量して小袋に入れたり、または農作物の皮を剥いたりする作業が中心です。作業のほとんどは室内ですが、時には屋外での農作業を通して、農作物の成長の手伝いをしています。利用者の皆さんが、チームワーク良く、一生懸命作業をしている姿はとても輝いてみえます。

今年の夏には、事務所前で、利用者が関わってきた農作物の販売をしました。内気な利用者もいて、なかなか言葉が出ないこともありますが、一生懸命にお客様と接していました。いつもは買う立場ですが、売る立場に戸惑いながらも良い経験になったと思います。

これからも、新型コロナの状況によりますが、色々な経験を共にしていきたいと思います。

笑顔で楽しくを、モットーに！

NPO法人 ひとつの花
理事長 橋本正行

赤い羽根募金にご協力いただき ありがとうございました。

ネギの皮むき機は2台同時に稼働できるようになり、作業効率が上がりました。



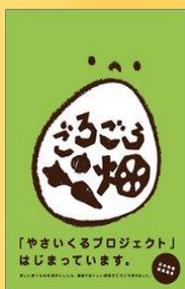
一般の皆様による赤い羽根募金のご協力により、農作物の出荷作業を行っているエコファーム HAGA に新しいエアーコンプレッサーとネギの皮むき機が届きました！



エアーコンプレッサー



ネギの皮むき機



「やさしいくプロジェクト」はじまっています。

ひとつの花販売会

野菜やパンなどの販売会も行われ、利用者の皆さんは呼び込みや接客を担当しました。皆さんお祭りの気分で、いつもより目が輝いていたように感じました。



